

新規施策について(平成28年度)

- いきいきサロン事業
- シニア支え合いポイント制度の試行実施
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの新規事業展開

28年度武蔵野市 新規事業

2025年へ向けた“まちぐるみの支え合いの仕組みづくり”を実現するために！

近所(K)・支え合い(S)・健康づくり(K)

いきいきサロン

地域住民団体やNPO法人・民間事業者等による、地域での介護予防や健康寿命の延伸を目的とした、定期的に継続して実施する「集いの場」づくりに対し、開設及び運営に係る費用を補助。

◆ 団体等の活動内容 ◆

- 概ね65歳以上の高齢者が5人以上（登録制。無断欠席時には安否確認を行う）
- 週1回以上（2時間以上）
- 介護予防・認知症予防のプログラム（脳トレや軽体操等）を実施



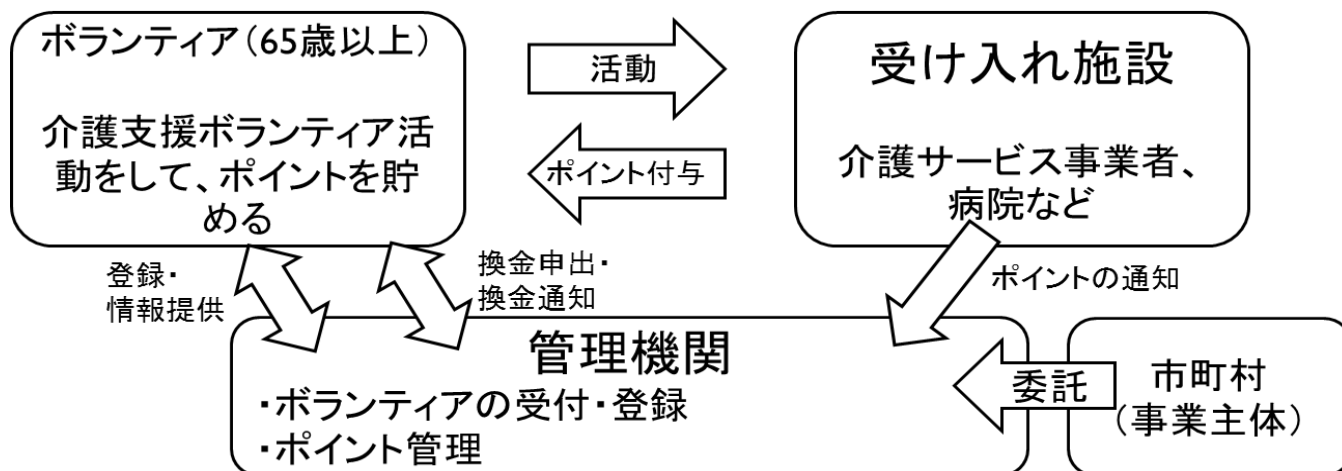
～ 補助内容 ～

- ◎ 運営費（消耗品費・講師謝礼等のプログラムに必要な経費）年間上限20万円
※多世代交流加算（乳幼児や青少年と交流するプログラムを実施した場合）年間上限5万円加算
- ◎ 開設準備費（備品の購入等、開設時に必要とされる経費）1拠点上限10万円
- ◎ 活動拠点整備費（建物等の修繕等、拠点整備に必要なとされる経費）1拠点上限30万円

平成28年度新規事業

試行⇒拡大⇒本格実施の三段ロケットで
制度の定着と着実な発展を図ります！

シニア支え合いポイント制度の試行実施



(出典:武蔵野市地域支え合いポイント制度(仮称)検討委員会報告書より)

目的

社会参加の促進
介護予防と健康寿命の延伸
介護人材の裾野の拡大

対象者

65歳以上の市民(介護保険
第1号被保険者)

制度内容

介護保険財源を活用した地域支援事業(一般介護予防事業)として実施。
高齢者施設などでの社会貢献活動に参加する高齢者へ活動実績に応じてポイントを付与し、
貯まったポイントをクオカードや寄付などを選択して還元。

【問い合わせ】武蔵野市健康福祉部地域支援課 ☎0422-60-1941

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの新規事業展開

<定期巡回・随時対応型訪問介護看護イメージ>



厚生労働省作成資料

■目的

○中・重度のひとり暮らし高齢者が可能な限り在宅生活できるように日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが密接に連携しながら利用者を支えるためのサービス。

■現状

○市が1事業者を指定(平成24年度～平成27年度まで)してきたが、入院等の利用者の不安定な状況や事業者の組織体制等を理由に、平成28年3月時点で9名の利用者数となり、伸びが低い結果となっている。

■新規事業者参入によるサービスへの展開

○平成28年度4月から、より多様で質の高いサービス提供を図るために、複数事業者によるサービスの充実を図り、地区別ケース検討会、居宅介護支援事業者連絡協議会、訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会等で紹介(平成27年度)。

○市指定の2事業者から、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護の典型的な事例について」ケアマネジャーを対象に説明(6月10日予定)。